

秋田県体育研究会

秋田県体育研究会は、1960年（昭和35年）に創設し、昨年度、50周年を迎えた。会長ならびに理事長を核とし、各郡市研究会（10団体）とともに、子どもが喜んで運動に取り組む体育、運動好きな子どもを育てる体育をめざしている。年間の事業としては、授業研究や研究協議会、功労者表彰ならびに講演会の開催、会報の発行などを主な活動としている。

メールマガジン続き

○スポーツ立県あきた

秋田県の児童生徒の体格・体力は、全国トップレベルにある。その一方で運動の二極化が目立ってきており、体力テストの結果については、昭和60年頃に比べ低い状況が続いている。

秋田県は平成21年9月に「スポーツ立県あきた」を宣言し、スポーツ振興を県民の運動として推進することとした。本県学校体育は、秋田県スポーツ振興基本計画の「子どものスポーツ活動の充実」に位置づけられており、運動好きで健やかな心身をもつ子どもを育てることが求められている。秋田県体育研究会は次の2点を目的として研究実践を進めてきた。

- ・児童生徒が意欲をもって学習に取り組み、仲間とかかわり合いながら運動の特性に十分に触れること。
- ・体力とスキルの向上を図り、豊かなスポーツライフおよび健康・安全で活気ある生活の基礎を確立すること。

○秋田県学校体育研究大会の開催

各郡市研究会が隔年ごとに開催しており、10月に行われる大館北秋田大会で33回目を迎える。各郡市研究会を中心に準備を進めるが、専門委員会（県役員）が可能な限りバックアップする体制をとっている。教師の支援の在り方、技能・態度・学び方の系統性や継続性、自己評価や相互評価の工夫、指導と評価の一体化など、様々な点に着目しながら授業提示を行っている。毎回200名ほどの参加があり、秋田県教育庁保健体育課の適切なご指導とご支援をあずかりながら、実り多い大会となるよう努めている。

今年度の大会（大館北秋田大会）では、「豊かなスポーツライフの基礎を固める体育学習～幼保・小・中・高の連携を通して～」の研究主題のもと、指導内容の体系化を図ったり基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させたりすることをねらっている。保育園が初めて参加することや「表現運動・武道」を研究領域にするなど、魅力ある新たな提案が期待されている。

【開催日】 10月26日（金）

【会場校】 有浦保育園 大館市立有浦小学校 大館市立東中学校 県立大館鳳鳴高校

○秋田県学校体育功労者表彰

全国学校体育優良校・功労者表彰と同様、長年にわたり学校体育の振興発展に尽くされた方々を表彰している。秋田県学校体育功労者表彰は、10月に審査会、12月に表彰式を行っている。同日記念講演も開催している。県内外から講師をお招きし、体育だけでなく多岐にわたった講演を拝聴している。

余談になるが、「米どころ秋田」はお酒もおいしい。ときには諸先輩方を囲みながら、様々な授業実践の取組などを肴にご指導・ご助言をいただくこともある。

○会報「秋田体育」の発行

秋田の体育への提言や各郡市の取組の紹介、各種研究大会に参加しての様子など、情報交換の役

割も担いつつ年2回（9月・3月）発行している。